

10. 自然現象（季節・気象・天体）

10-1 季節

春：パイカラ paykar。春一番に鳴く鳥は、トウトウ tutuk（山ぼと）で、次にレタツチリ retat ciri (?)（うぐいす）である。カクコク kakkok（カッコウ）が鳴くと畑を耕し（トイタ toyta）でもよいと言われる。カッコウは、"ku: su: yep toyta:" と鳴いているように聞こえる。春にとれる魚は、早い順にオクルベ okurpe（ヤツメウナギ）、チライ ciray（いとう）、スブン supun（赤はら）である。

夏：サク sak～サツ sat または、オキサク okisak という [石山キツエ]。サツノシキ satnoski～サクノシキ saknoski は、盆の頃の夏を言う [大村ユキ]。8月頃、イチヤニウ icaniw（鱒）が遡りはじめる。

秋：ツク cuk [大村ユキ]、ツブ cup [石山キツエ]。カモやガンなどが飛んでくる頃が、秋の始まりである。10月頃、秋味（鮭）がとれ出す。

冬：マタ mata と言う。冬の真中をマタノシキ matanoski と言う [大村ユキ]。雪が降り出すと冬が始まる。イオマンテ（熊送り）は、12月頃で、その後に、イワン タシクル イワン レイエ ウブン iwan taskur iwan reye upun（6日しばれて、6日ふぶく）と呼ぶ時期がある。イワン レイエ ウブンは1月頃で、この時期にキムン カムイ kimun kamuy（熊）が生まれると言われている（家の中で「熊の生まれる頃だ」と思うだけで、言葉に出すのは慎む）。イワン タシクルは、1月末から2月にかけての時期をさし、この頃、レブン カムイ repun kamuy（鯨）が生まれると言われる [石山夫妻、11月14日]（大村ユキさんは、イワン タシクルが1月で熊が生まれ、イワン レイエ ウブンが2月で鯨が生まれると記憶している）。

イワン タシクルの寒さの厳しい頃を、アットウシ ヤルカ ツブ attus yarka cup と呼ぶ。この意味は、「アットウシをボロボロにする月」で、寒くて人が炉辺近くに服を着たままたっている、アットウシが炉の熱ですぐにボロボロになり、使いものにならなくなるから、この名 attus yarka cup がついたと言う。 [石山夫妻、11月14日]

10-2 一日の区分

シリ クンネ sir kunne は、日が暮れて暗くなってから、朝のまだ暗い間の時期を言う。

ニサツ nisat は、日の出前で、空が明るくなりかけた頃の時期を言う。

トー カム tokam は、昼間。

トー ケシ tokes は、夕方、日没の頃。

ツプ アフンcup ahun は、「日の入り」で日没のことを言う。夕焼けを、シリ フーレsir hureと言う。〔大村ユキ〕

アリ オヌマンari onumanは、日没後、暗くなったばかりの頃で、ウェン カムイwen kamuyあるいは、パウチpawci (悪神、悪霊) が外を歩きまわるので外出してはいけないと言われる。

これ以後、ニサッまでは、最初に述べたシリ クンネである。〔石山夫妻、12月12日〕

10-3 気象

雪：ウパシupasと言う。ウパシ アシupas as 雪が降る。ウパシ ルトウツケupas rututke 雪が降りてくる。ウパシ ルイupas ruy 雪が多い。ウパシ ユブケupas yupke 雪がひどい。カパラウパシkapar upasとは、短い時間にさっと降って薄く地面に積もった雪。アシリ ウパシasir upasは、新雪。テイネ ウパシteyne upasまたは、コニルクテkonirukteは、ぼたん雪。

ウーカúkaは、春に人が上を歩けるほどの堅雪。山獺に向いている。セタ ウーカseta úkaは、犬が歩いてもぬからない程度の堅雪 (ラオシマraosmaぬかる)。

ウブンupun 吹雪。ウブン アシupun asまたは、ウブン アンupun an 吹雪く。

レイエ ウブンree upunまたは、レイエ ウブンreye upun 地面をはうように吹きあがる雪。

コンルkonru 氷、つらら。

ペツ カ ルプシpet ka rupalus 川の表面が凍る。

コンル モムkonru mom 氷が流れる。春先上流で凍ってできた氷が流れてくること。〔以上大村ユキ氏、12月6、13日〕

ペソシ アシpesos as みぞれ、湿った雪。

フシコ ウパシhusko upas 積雪。

ポロ ウパシporo upas 深雪。

パシクル ウーカpaskur úka,カラスが上を歩ける程度の堅雪。

ウパシ ニンupas nin 雪がとける。

ウパシ カ ウエンupas ka wen ふわふわ雪で歩くとぬかる。

ウパシ ニトupas nito 雪が固くしまっていて落ち着いた状態。根雪。

コンル ウシkonru us 川面に氷が張る。

コンル ニンkonru nin 氷がとける。

コンル リーウカkonru riuka 柳の柴を切って並べ、その上に水をかけて作った橋。12月頃、渡舟場にこれを作った。

モンベmompe 春に上流から流れてくる氷。このモンベのなくなった頃、いとう魚が遡り始める。〔以上石山夫妻、12月12日〕

風：レラréra。レラ アシréra as 風が吹く。ポン レラpon réra そよ風。穀物の殻と実を分け

る時に “pon rera pon rera” と言いながら、風で吹き分ける。レラ ユプケ^レ rera yupke 風が強い。〔大村ユキ氏、伊沢ヒサ氏、12月6日〕

ピタラ^ピ pitar北風〔石山キツエ氏〕、南風〔石山長次郎氏〕。ピタラが吹くと、メノコ^メ コタン (menoko kotan) という島の女達が妊娠するために股を広げて立つ。すると子供が生まれる。生まれた子供が男の子だと女達が奪い合いをする、という言い伝えがある。ポロ^ポ レラ^レ アシ^ア poro rera as 台風。〔石山御夫妻、12月12日〕

雨：ルヤンベ^ル ruyanpe。ルヤンベ^ア アシ^ア ruyanpe asまたは、ルヤンベ^ル イ^イ ruyanpe ruy 雨が降る。ルヤンベ^ユ ユプケ^ユ ruyanpe yupke 雨がひどい、どしゃ降り。ポンノ^ポ ルヤンベ^ア アシ^ア ponno ruyanpe as 小降り。カムイ^カ ルヤンベ^カ kamuy ruyanpe 夕立。〔大村ユキ氏、12月6、13日〕

水：ワッカ^ワ ポロ^ポ wakka poro 洪水になる。オキムンベ^オ okimunpe 洪水、春・夏などの大水。オレブンベ^オ orepunpe 春に川の氷の下から水があふれ出て、その氷の上を水が流れる。人は皆逃げ出したそうだ（大村ユキさんの祖母の前の時代）。〔大村ユキ氏、12月6、13日〕

暑さ・寒さ

メアン^メ mean～メウン^メ meun 寒い。シロヌマ^シ アナク^ア メウン^メ ウマナ^ウ sironuma anak meun um an a 晩は、寒いなあ。

メライケ^メ merayke 寒く感じる。エ^エ メライケ^メ コトム^コ アン^ア ナ^ナ e merayke kotom an na おまえ寒そうだな。

セセク^セ sesek 暑い。シスセセク^シ フマンナ^フ sissesek hum an na 暑いな。ウーセウ^ウ セセク^セ usew sesek お湯が熱い。ク^ク セセク^セ ku sesek 私は暑い。

ポプケ^ポ popke 暖かい。シリ^シ ポプケ^ポ ウマンナ^ウ sir popke um an na 暖かいな。タネ^タ ク^ク ポプケ^ポ wane ku popke wa もう暖かいよ。

シリメマン^シ sirmeman 涼しい。

タシクル^タ taskur しばれる。

〔大村ユキ氏、12月6、13日〕

天候・その他

シリ^シ ピリカ^ピ sir pirka 晴れ。

シリ^シ ウエン^ウ sir wen 天気が悪い。

ルヤンベ^ル アシ^ア コトム^コ ruyanpe as kotom 雨模様。

ウララ^ウ urar 霞がかかる。

ラヨチ^ラ rayoci 虹。虹が出ると遠くで大雨が降るので遠出しない。

カンナカムイ^カ kanna kamuy 雷。カムイ^カ オニシポソ^オ kamuy onisposo 雷が鳴る〔大村ユキ氏〕
〔石山御夫妻、12月12日〕

ニシ^ニ nis～ニシクル^ニ niskur 雲。

シンクプシ^シ sinkupus 霜。

トイサラ^ト toysar（春になって）土が出てくること。その時期になると “kamuy etuk

kor siran na" 「熊が出てくるようだな」と言う。〔大村ユキ氏、12月6、13日〕

10-4 天体

ツプ チセ カム cup cise kamu 太陽がカサをかぶる。

図-27 太陽の家

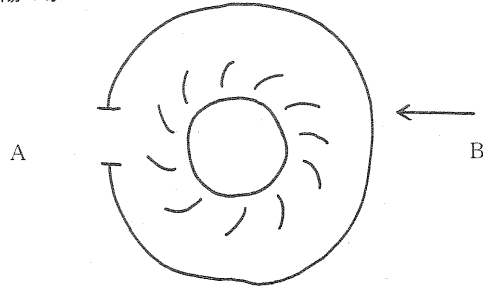


図27のように、ツプ チセの一部 (図のA)が切れていたら、そこが戸口と考えられ、戸口は風下あると考えられているので図のBの方向から風が吹いてくるだろうと予測される。

ツプ アン コイキ cup an koyki 日食。「太陽がいじめられている」という意味。まな板などを出して、打って大きな音を出し、太陽をいじている悪神を追い払うと良いと考えられた。

ノチウ nociw 星。星座名として、チヌカラ クル ci nukar kur (人の形をした星座でいつも北の空に出る)、ヤシ yas (西空に出る4つ星)、ニサツ サオ nizat sao 「朝に逃げる」 (明けの明星)がある。〔石山長次郎氏、12月12日〕